

報道関係者各位

かわさき市美術展

前年度を大きく上回る
266点の出品作品から、
入賞・入選作120点を
一挙展示!

川崎市市民ミュージアムでは、2018年3月3日(土)～17日(土)まで「第51回 かわさき市美術展 入賞・入選作品展」を開催いたします。

「かわさき市美術展」は1967(昭和42)年に始まった、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。川崎市在住、あるいは市内で制作活動をしている方を対象に①平面、②彫刻・立体造形、③工芸、④書、⑤写真、⑥中学生の6部門で実施した公募では、前年度の192点を大きく上回る合計266点の作品が出品されました。

選考の結果、最優秀賞は山脇勇大さんの油彩画「Retina」、中高生を対象としたヤング大賞は永井武志さんの水彩画作品「自画像」、そして90歳以上を対象に今回より新設したシニア大賞は河内新一さんの油彩画「秋冷」が受賞しました。本展では、最優秀賞・大賞を含む入賞・入選作品120点を展示いたします。

なお、最終日の3月17日(土)13時からは表彰式および審査員による作品の講評を行います。ぜひご取材・ご掲載賜りますようよろしくお願い申し上げます。



最優秀賞
山脇 勇大「Retina」



ヤング大賞
永井 武志「自画像」



シニア大賞
河内 新一「秋冷」

◆最優秀賞	「Retina」	山脇 勇大	<平面(油彩)>
◆特選	「ホライズンブルーの記憶」	松尾 雅子	<工芸>
	「宮本輝の言葉より」	大室 景石	<書>
	「少女脱皮」	三竹 基弘	<写真>
◆ヤング大賞	「自画像」	永井 武志	<平面(水彩)>
◆シニア大賞	「秋冷」	河内 新一	<平面(油彩)>

「第 51 回 かわさき市美術展
入賞・入選作品展」開催概要

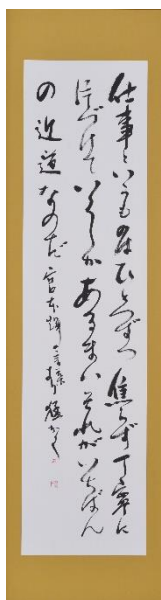
- 【会 期】2018年3月3日(土)～3月17日(土)
 【会 場】川崎市市民ミュージアム 2F 企画展示室 2
 【観 覧 料】入場無料
 【開館時間】9:30～17:00 (最終入館は16:30まで)
 ※最終日3月17日(土)のみ15:00まで
 【休 館 日】3月5日(月)、3月12日(月)



特選

松尾 雅子「ホライズンブルーの記憶」

主催：川崎市市民ミュージアム、かわさき市美術展運営委員会
 共催：川崎市
 後援：川崎市教育委員会
 協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合 (50音順)



(右) 特選

三竹 基弘「少女脱皮」

(左) 特選

大室 景石「宮本輝の言葉より」



表彰式

2018年3月17日(土) 13:00～ 1階・逍遙展示空間にて

- * 終了後、審査員による入選作品の講評を行います。
- * どなたでもご参加いただけます。

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

- 住 所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)
- 開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休 館 日：月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始
- 観 覧 料：企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。
 * 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。
 * 20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。
- アクセス：下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ
 ・武蔵小杉駅(JR南武線・横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)よりバスで約10分
 ・武蔵溝ノ口駅(JR南武線)・溝ノ口駅(東急田園都市線・大井町線)よりバスで約20分
 ・JR川崎駅よりバスで約40分



【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 石澤

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30～17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/>

* 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体